



2025.

2.11[火]—3.23[日]

会期中の休館日：月曜日

国立映画アーカイブ

長瀬記念ホール OZU〈2階〉

定員＝310名（各回入替制・全席指定席）

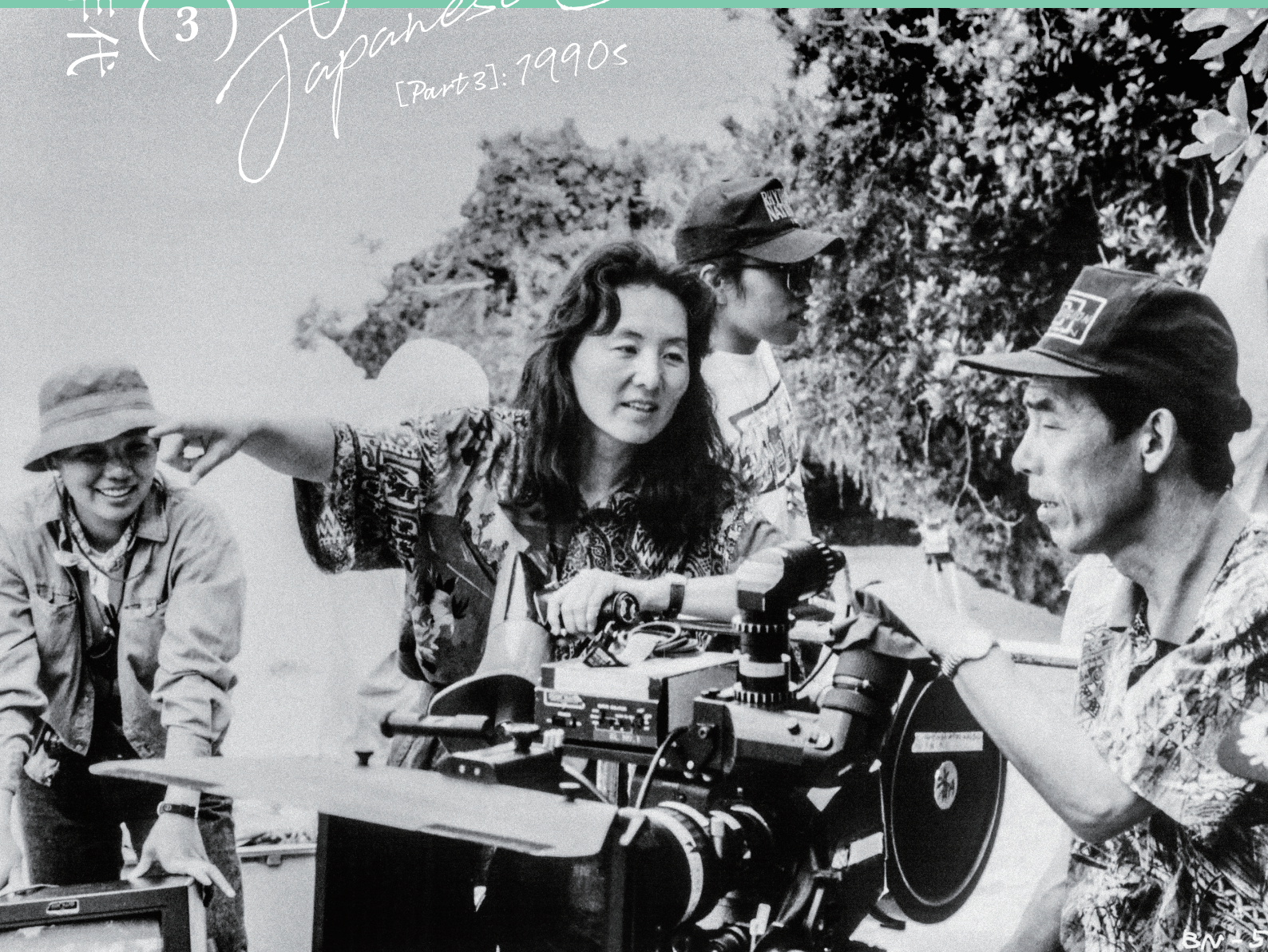
各回の開映後の入場はできません。

主催：国立映画アーカイブ 企画協力：森宗厚子 [上映会番号481]

日本女性の映画

1990年代

(3)

*Women Who Made
Japanese Cinema*
[Part 3]: 1990s

日本の女性映画人 (3)
—1990年代Women Who Made Japanese Cinema [Part 3]:
1990s

日本映画の歴史において、監督・製作・脚本・美術・衣裳デザイン・編集・結髪・スクリプターなど多様な領域で女性映画人たちが手腕を発揮してきました。2022年度の「日本の女性映画人(1)―無声映画期から1960年代まで」、2023年度の「日本の女性映画人(2)―1970-1980年代」に続き、その功績を回顧する特集上映を開催します。

1980年代以前の日本の映画界では、俳優出身の女性監督が台頭し、また記録映画やピンク映画の分野では多くの作品を発表する女性監督の活躍も見られた一方で、一般劇映画の作り手として女性監督がキャリアを築いていくのは困難であり、1990年代にようやく継続的に作品を発表する監督が目立つようになりました。つまり、1990年代は、日本映画史において女性が監督を「職業」とし始めた最初の時代であったといえます。

米国留学中に手がけた短篇映画で評価を得た後、角川春樹製作の『ぼくらの七日間戦争2』(1991)で長篇監督デビューを果たした山崎博子、英国留学を経て日英合作で長篇第1作を監督した佐藤嗣麻子、CMディレクターを経て松竹配給作品『人でなしの恋』(1995)の監督・脚本を手がけた松浦雅子らは、いずれも大手映画会社のもとで拡大公開される映画を送り出した女性監督の先駆として特筆すべき存在です。一方、ぴあフィルムフェスティバル(PFF)で頭角を現し、『冬の河童』(1995)でロッテルダム国際映画祭タイガーアワードを受賞した風間志織、個人映画で注目を浴びた後の長篇デビュー作『萌の朱雀』(1997)でカンヌ国際映画祭カメラドールを受賞した河瀬直美などはインディーズ的才覚を持った新世代の女性映画作家として国内外で高く評価されました。個人映画・実験映画の作り手としては、小口詩子、和田淳子、寺嶋真里、歌川恵子らの登場も重要なトピックです。また、椎井友紀子、佐藤美由紀、松田広子ら女性の映画プロデューサーの台頭もこれらの潮流に寄与しました。

本特集では、1990年代前後の作品を含め、劇映画、ドキュメンタリー、実験映画、アニメーションなど計52作品(37プログラム)を上映し、それぞれの女性映画人を顕彰するとともに、日本映画史を見据える新たな視点を提示します。

- ◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ⑧=脚本・脚色
- ◎=撮影 ◎=美術 ◎=音楽 ④=出演
- ◎=声の出演 ◎=解説・ナレーション
- スタッフ、キャスト欄の人名は、原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- タイトルの横に★印が付いている作品は、公開当時成人指定を受けた作品です。当該の上映回には女性専用席を設けます。
- NEWとある作品は、ニュープリントでの上映です。

監督

1 2/11(火)19:00 3/1(土)13:00★ 3/22(土)13:00

山崎博子

ぼくらの七日間戦争2

(88分・35mm・カラー) NEW

沖縄を舞台に、自然破壊に立ち向かう中学生を描いたコメディ。アクションによる描写が冴えており、子どもたちが仲直りする過程を缶蹴りで演出した場面は出色。米国に留学した山崎博子は短篇で受賞するなど現地で活躍していたが、『天と地と』(1990)のカナダ・ロケで通訳を務めたことを機縁に角川春樹プロデューサーから商業映画の監督に抜擢された。

1991(「ぼくらの七日間戦争2」製作委員会) ◎◎山崎博子 ◎宗田理 ◎稲葉一広、石田芳子 ◎鈴木耕一 ◎金田克美 ◎B.B.クイーンズ ◎渋谷琴乃、柳志乃、具志堅ティナ、明賀則和、武内伸一郎、天間信紘、佐野史郎

★3/1(土)13:00の回の上映後、山崎博子監督と森宗厚子氏(広島市映像文化ライブラリー 映像文化専門官)によるトークイベントを実施します。

2 2/22(土)16:30★ 3/7(金)15:00

佐藤嗣麻子(1)

エコエコアザラク Wizard of Darkness

(80分・35mm・カラー)

ロンドンの映画学校で学び、日英合作で長篇デビュー作『ヴァージニア』(1993)を撮った佐藤嗣麻子が、古賀新一の漫画の映画化という企画を得て初めて日本の撮影体制下で監督したホラー。黒魔術を操る少女・黒井ミサ(吉野)が同級生たちと学校の校舎に閉じ込められ、魔王ルシファーを召喚しようとする敵に立ち向かう。原作の世界観を生かしながらも『ヴァージニア』と同じく悲恋の要素を織り込むなど映画独自の脚色・演出が奏功している。

1995(ギャガ・コミュニケーションズ=円谷映像) ◎◎佐藤嗣麻子 ◎古賀新一 ◎武上純希 ◎須藤昭榮 ◎坂本享大 ◎片倉三起也 ◎吉野公佳、菅野美穂、周摩、高橋直純、岡村洋一、角松かのり、高樹滯

★2/22(土)16:30の回の上映後、佐藤嗣麻子監督によるトークイベントを実施します。

3 2/22(土)13:00 3/7(金)18:30

佐藤嗣麻子(2)

K-20 怪人二十面相・伝

(137分・35mm・カラー) NEW

日本の女性監督史上に新たな地平を拓いた、製作費10億円以上という金字塔的作品。ハリウッド的な娯楽活劇を志向し、怪人二十面相をスチームパンク風の世界観の中に描く。アクション演出にこだわり、欧米で目立っていたバルクール(走る、跳ぶ、登るといった身体運動を応用したアクション)を日本映画で初導入した。脚本も手がけた佐藤は、大胆な脚色を施し、自らの意思で行動する令嬢の活躍をも打ち出した。また、VFXディレクターの渋谷紀世子は、山崎貴監督作品も手がけ、アカデミー視覚効果賞に輝いた『ゴジラ-1.0』(2023)にも大きな貢献を果たしている。

2008(「K-20」製作委員会) ◎◎佐藤嗣麻子 ◎北村想 ◎柴崎幸 ◎上條安里 ◎佐藤直紀 ◎金城武、松たか子、國村隼、高島礼子、本郷奏多、鹿賀丈史、仲村トオル



ぼくらの七日間戦争2

4 2/12(水)15:00 2/23(日)13:00

松浦雅子(1)

人でなしの恋 (87分・35mm・カラー)

5年間の片思いの末、門野(阿部)と結婚した京子(羽田)。ところが門野は毎晩床を抜け出し、庭にある蔵へ向かうのだった…。創業100周年を迎えた松竹で新人監督の起用が図られる中、CMディレクター出身の松浦雅子が本作で監督デビュー。松浦は江戸川乱歩の世界を女性の側から描きたいと意気込み、一途であるがゆえに切ないラブストーリーに仕上げた。

1995(松竹=バンダイビジュアル) ◎◎松浦雅子 ◎江戸川乱歩 ◎佐々木原保志 ◎部谷京子 ◎中村幸代 ◎羽田美智子、阿部寛、吉村実子、藤田敏八、堀江奈々、竹中直人、岡田英次、加藤治子

5 2/12(水)19:00 2/23(日)16:00

松浦雅子(2)

PLATONIC SEX

(104分・35mm・カラー) NEW

家庭での居場所を失った10代の少女・あおい(加賀美)が、DJを目指しているトシ(オダギリ)と運命的に出会い同棲を始める。しかし、アダルトビデオ出演がトシに知られたのをきっかけに、2人の心はすれ違い…。飯島愛のベストセラー自伝をもとにした松浦の監督第4作で、男たちから性的に搾取されながらも、真っすぐに生きようとする少女の心の機微を描き出した。

2001(「プラトニック・セックス」製作委員会) ◎松浦雅子 ◎森下佳子 ◎監修飯島愛 ◎高瀬比呂志 ◎及川一 ◎佐橋俊彦 ◎加賀美早紀、オダギリジョー、野波麻帆、石丸謙二郎、根岸季衣、佐藤仁美、加勢大周、阿部寛



K-20 怪人二十面相・伝

©2008「K-20」製作委員会



人でなしの恋



PLATONIC SEX

62/15(土)13:003/19(水)15:00

風間志織(1)

冬の河童(113分・35mm・カラー)

互いに母親を異にする3人兄弟(趙、和久田、田辺)の住む一軒家が売却される。いとこのサケ子(伊藤)が引越しの手伝いに来たことで、兄弟間の微妙な均衡が崩れ始める。高校在学時にPFFに入選して話題となった風間志織が8mm自主長篇『メロデ Melodies』(1989)に続いて撮った長篇2作目。冬の澄んだ空気と淡い光が木造家屋を包み込み、人物の些細な台詞や表情の変化を際立たせている。

1995(冬の河童ユニット) 風間志織 小川智子 鈴木昭彦 木村威夫 三柴理 伊藤亜希子、趙方豪、和久田理人、久野真紀子、田辺誠一、芹川砂織、浅野あかね

72/15(土)16:003/20(木)15:00

風間志織(2)

火星のカノン(121分・35mm・カラー)

『冬の河童』の後、脚本の小川智子や俳優の久野真紀子との話し合いの中で生まれ、熟成されたという風間の商業映画第2作。「次は淡い恋愛ではなくセックスを」というのがテーマだったという。妻子ある中年男性(小日向)と恋愛関係を続けながら、別れられない女性(久野)の切ない心情、さらに彼女に恋をする女性(中村)――浮遊的な恋愛がもたらす破壊と苦痛が周囲の人々との関係とともに切々と描かれる。

2002(アルゴ・ピクチャーズ＝アンフィニー＝パップ) 風間志織 小川智子、及川章太郎 石井勲 松本知恵 阿部正也 久野真紀子、小日向文世、KEE、中村麻美、はやさかえり、篠崎はるく、和久田理人

82/15(土)19:003/21(金)15:00

風間志織(3)

せかいのおわり(111分・35mm・カラー) NEW

盆栽屋「苔 moss」を舞台に、大人になりきれない男女3人(中村、渋川、長塚)の一見だらしない、しかしあふれ出しそうな喜怒哀楽を抱えた日常を描く。『火星のカノン』の後半で脚本に参加した及川章太郎の台詞の軽やかさに魅かれた風間は、今作では初めてDV撮影を導入したこともあり、俳優たちの即興も積極的に取り入れて、自作に新たな空気感を導入している。

2004(寿々福堂＝マックス・エー＝ビタース・エンド＝ポニーキャニオン) 風間志織 及川章太郎 石井勲 丸尾知行 岸野雄一 中村麻美、渋川清彦(KEE)、長塚圭史、安藤希、小林且弥、土屋久美子、久野真紀子、高木ブー、つみきみほ、小日向文世、田辺誠一



冬の河童 ©風間志織



WINDS OF GOD

92/13(木)15:003/4(火)15:00

奈良橋陽子

WINDS OF GOD(97分・35mm・カラー)

新人漫才師の誠(今井)と金太(山口)は交通事故に遭って気を失う。目覚めると2人は第二次大戦中へとタイムスリップしており、なんと特攻隊員と体が入り替わっていた…。元自衛官という経歴を持つ今井雅之が戯曲を書き、1988年に初演した舞台の映画化。監督の奈良橋陽子は、米国でキャスティング・ディレクターとしても活動しており、日本人俳優のハリウッド映画出演をサポートしている。

1995(松竹第一興行＝ケイエスエス) 奈良橋陽子 今井雅之 西浦清 丸山裕司 大島ミチル 山口粧太、菊池孝典、小川範子、平直政、新井つねひろ、井田州彦、大森嘉之、別所哲也

102/13(木)19:002/28(金)15:00

高山由紀子

風のかたみ(99分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

平安時代の京の都を舞台に、叔母の忘れ形見の姫を愛する侍、侍を慕う笛師の娘、陰陽師などが複雑に絡み合い、華麗な恋愛劇を展開する。脚本家として『メカゴジラの逆襲』(1975、本多猪四郎)、『月山』(1979、村野鐵太郎)などを手がけた高山由紀子は、長年、岡本喜八作品を支えたプロデューサー岡本みね子によって本作で念願の監督デビューを果たす。2人は『娘道成寺 蛇炎の恋』(2004)で再びコンビを組んだ。

1996(喜八プロダクション＝Studio TYT＝FOURTACKS) 高山由紀子 福永武彦 加藤雄大 丸山裕司 東儀秀樹 岩下志麻、坂上忍、高橋かおり、阿部寛、永澤俊矢、岡本真実、岸部一徳

112/14(金)15:003/12(水)19:00

河瀬直美

萌の朱雀(94分・35mm・カラー)

過疎化が進む奈良県西吉野村(現在の五條市)で暮らす家族の姿を、素人の役者を中心とするドキュメンタリータッチで描く。『につつまれて』(1992)などの個人映画で頭角を現した河瀬直美がカンヌ国際映画祭カメラドールを当時最年少で受賞して話題に。これが長篇第1作となる河瀬を撮影の田村正毅をはじめとするスタッフがサポートしており、美術の吉田悦子、照明の鈴木敦子といった女性スタッフの貢献も大きい。

1997(WOWOW＝バンダイビジュアル) 河瀬直美 田村正毅 吉田悦子 茂野雅道 國村隼、尾野真千子、柴田浩太郎、神村泰代、向平和文、山口沙弥加、和泉幸子



風のかたみ



萌の朱雀

122/14(金)19:003/16(日)13:00

松井久子

ユキエ(94分・35mm・カラー・日本語字幕付)

主にTVドラマやドキュメンタリー番組のプロデューサーとして活躍していた松井久子が、芥川賞受賞小説を原作に自ら製作した監督デビュー作。かつて戦争花嫁としてアメリカに渡ったユキエ(倍賞)がアルツハイマー病を発症し、元軍人の夫(スウェンソン)が家庭での介護を試みる。キャストやスタッフの大半を米国人で編成してルジアナナ州で撮影を行ない、老いを通じて深まる夫婦愛を描いた。

1998(エッセン・コミュニケーションズ) 製作 編集 松井久子 吉目木晴彦 新藤兼人 阪本善尚 美デニス・グリーンウッド 岡崎真弘 倍賞美津子、ポー・スヴェンソン、ジョー・クレスト、マーク・コンクリン、羽野晶紀、草村礼子

132/18(火)15:002/28(金)19:00

合津直枝

落下する夕方(106分・35mm・カラー) NEW

TVプロデューサーとして様々な作品に関わりながら、1995年にプロデュースした『幻の光』(是枝裕和)の成功で映画界の注目を集めた合津直枝の監督第1作。恋人の健吾(渡部)から同棲生活の解消を告げられたリカ(原田)のもとに、彼が一目惚れしたという華子(菅野)が現れ、奇妙な三角関係が始まる。失恋の事実に向き合えない女性が、一人の女性との出会いの中で再生していく姿を繊細に描き出した。

1998(松竹＝テレビマンユニオン＝衛星劇場) 合津直枝 江國香織 当摩寿史 中堀正夫 富田麻友美 西村由紀江 原田知世、渡部篤郎、菅野美穂、国生さゆり、中井貴一、大杉漣、木内みどり

142/18(火)19:003/16(日)16:00

浜野佐知

第七官界彷徨 尾崎翠を探して(108分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

暴力に依らない対等な性的関係をかかげ、300本ものピンク映画を監督した浜野佐知による初の一般映画。尾崎翠の代表作『第七官界彷徨』と断筆した戦後の半生を描く。哀れな後半生というイメージに抗して、白石加代子が尾崎を力強く演じる。全国の女性たちからのカンパや、尾崎の地元の人々の協力によって製作。国内外の女性映画祭などでも高い評価を得た。

1998(旦々舎＝『第七官界彷徨 尾崎翠を探して』製作委員会) 浜野佐知 尾崎翠 山崎邦紀 田中譲二 星望恵子、塩田仁、奥津徹夫 吉岡しげ美 白石加代子、吉行和子、原田大二郎、柳愛里、岡元あつこ、響まあり

152/25(火)15:003/6(木)15:00

吉行由実/小谷内郁代

発情娘 糸ひき生下着* (60分・35mm・カラー) NEW

結婚制度に縛られたくないカップルとゲイの友人の三角関係を爽やかに描いたピンク映画。吉行由実とは1993年にピンク映画で俳優デビューを果たし、多数の作品に出演した後、『まん性発情不倫妻』(1996)で監督デビュー。1997年には実相寺昭雄監督『D坂の殺人事件』で一般映画にも進出した。五代暁子は1986年に脚本家デビュー後、池島ゆたか監督とのコンビ作を中心にピンク映画で活躍。

1998(オフィス吉行) 吉行由実 五代暁子 小西泰正 加藤キイチ 林由美香、河名麻衣、石川雄也、川瀬陽太、原知佐子

境界線の向こう側* (63分・35mm・カラー) NEW

ゲイの男性が余命いくばくもない父親の思いに応えるため、インターネットでレズビ안의女性に偽装結婚を持ちかけ、恋人とともに彼女のもとへ向かう。小谷内郁代は、浜野佐知の旦々舎で助監督を務めた後、この作品で監督デビュー。今村千絵と共同で脚本も手がけ、同性愛者の結婚を題材とするロードムービーに仕立てた。

1998(オフィスガレッジ) 小谷内郁代 今村千絵 小山田勝治 安田光一 八幡現代、西岡秀記、佐々木麻由子、麻生みゆう、野上正義、佐野和宏

監督(ドキュメンタリー)

16 2/26(木)19:00 3/23(日)13:00

栗原奈名子/山上千恵子/瀬山紀子

ルッキング・フォー・フミコ

(57分・DCP・カラー) **NEW**

栗原奈名子がNYで出会った友人の史子は、1970年代に日本の女性解放運動であるウーマンリブに関わっていた。彼女の死をきっかけにして、リブ運動に参加した人々に話を聞く旅に出る栗原。その過程で、自分らしく生きることと集団の中で生きることの葛藤を続けた女性たちのパーソナルな方法の探求こそが、リブの本質であったことを浮き彫りにしていく。

1993(シグロ)    製作編集録音栗原奈名子  スコット・シンクラー  ブライアン・エールズ  大和史子、田中美津、舟本恵美子、岩月澄江、村上朋子、上野千鶴子

30年のシスターフッド 70年代ウーマンリブの女たち(57分・DCP・カラー) **NEW**

山上千恵子と瀬山紀子が埋もれた女性たちの歴史を掘り起こす趣旨で立ち上げた〈女たちの歴史プロジェクト〉の第1作。かつてウーマンリブに関わった12名の女性たちが、静岡県中伊豆で開かれた「リブ温泉合宿」で30年ぶりに再会する様子を記録したもので、男性中心の価値観が優勢な時代の空気の中、連帯して闘った女性たちの力強い証言の数々が引き出されている。

2004(女たちの歴史プロジェクト)   編集栗原奈名子  スコット・シンクラー  ブライアン・エールズ  山上千恵子、瀬山紀子  三木草子、佐伯洋子、土井ゆみ、秋山洋子、田中美津、北山三津子、渡辺文恵

17 2/26(木)15:00 3/11(火)15:00

羽田澄子

女たちの証言—労働運動のなかの先駆的な女性たち(93分・16mm・カラー)

大正から昭和初期に社会主義的労働運動に参加した活動家の女性たちが一堂に会した1982年の座談会に始まり、その後に撮られたインタビューを加えて構成されたドキュメンタリー。進歩的とされた労働運動における女性への差別などの経験も語られ、真の女性解放について問いを投げかける。羽田澄子は岩波映画を退社後もプロデューサーである夫の工藤充とともに自由工房で精力的に活動を続けた。

1996(自由工房)   編集羽田澄子  瀬川浩、宗田喜久松  瀧澤修、田辺信通  湯浅譲二  丹野セツ、鍋山歌子、福永操、山内みな、石堂清倫  喜多道枝

18 2/11(火)15:00 3/23(日)16:00

熊谷博子

映画をつくる女性たち

(103分・DCP・カラー)

日本の女性監督たちが映画作りについて語るドキュメンタリー。1985年から始まった東京国際女性映画祭が15回目を迎えた記念に製作された。20人以上の女性監督を取り上げ、羽田澄子、山崎博子、村上靖子、奈良橋陽子、高山由紀子、松浦雅子、松井久子、浜野佐知、河瀬直美などに撮り下ろしてインタビューを行なっている。DVCAM 原版をもとに作製したDCPでの上映。

2004(東京国際女性映画祭実行委員会)   熊谷博子  馬場宏子  石田厚幸  本田成子  中里雅子



女たちの証言

監督(アニメーション)

19 2/16(日)13:00 3/9(日)16:00

四分一節子/山田火砂子

雪渡り(23分・35mm・カラー) **NEW**

宮沢賢治没後60年に、長篇『グスコープドリの伝記』(1994、中村隆太郎)の併映作品として製作された短篇アニメーション映画。四分一節子は、夫の出崎哲が設立したマジックバスの作品を中心にアニメーターとして活躍、「うる星やつら」などで作画監督やキャラクターデザインを手がける傍ら、同じく宮沢賢治の作品をもとにした『賢治のトランク』(1996)や戦争童話を原作とする『ガラスのうさぎ』(2005)など長篇アニメーション映画を多数監督している。

1994(テレビ東京)   四分一節子  宮沢賢治  経コテ胡桃野蛭樹  金子智洋  協威志  中島優貴  林原めぐみ、水谷優子、伊倉一寿、亀井芳子、三木眞一郎、滝沢久美子

エンジェルがとんだ日

(80分・35mm・カラー) **NEW**

戦後に女性だけのカントリーバンド、ウエスタン・ローズの一員として活躍し、舞台俳優を経て夫の山田典吾が設立した現代ぶろくしょんに参加した山田火砂子は、『はだしのゲン』(1976)など夫の監督作品でプロデューサーを務めた後、この作品で監督デビュー。重度の知的障害を持つ娘との生活を題材に、資金難による制作中断を挟みながらも執念で作品を完成させた。

1995(「エンジェルがとんだ日」製作委員会)    山田火砂子  神山茂男  長尾仁  作画監督 菊池城二  石川鷹彦、フィリップ・ペラン  市原悦子、坂本千夏、渡辺久美子、飛田展男、千葉繁、長島雄一、内海桂子



ルッキング・フォー・フミコ



ばら科たんぽぽ

監督(自主映画/個人映画/実験映画)

20 3/8(土)13:00 3/19(木)19:00

小口詩子/和田淳子

小口詩子のおでかけ日記

(47分・16mm・カラー)

早稲田大学で演劇を学び身体表現と映像制作を行っていた小口詩子が、太陽に会いに出かけた女性の魂が放浪するさまを日記映画的アプローチで描く。8mmによる撮影。イメージフォーラム・フェスティバル(IFF)1989大賞を受賞。

1988    小口詩子

ばら科たんぽぽ(9分・16mm・カラー)

コマ撮りを取り入れた「無理矢理アニメ」と称する手法により、遊び心あふれる人形ごっこを模してセクシュアリティの混沌を描き出す。TBSテレビ「三宅裕司のえびぞり巨匠天国」で高く評価されたほか、ジェーン・カンピオン短篇特集の併映として劇場公開された。

1990   小口詩子  ルル、ララ、勝野平之

眠る花(7分・16mm・カラー)

祖母にカメラを向けた日常のスケッチと何気ない会話から白い花々に埋もれる葬儀のイメージへと飛躍する、死生観を題材とした親密さに満ちた作品。IFF1992審査員特別賞受賞。

1991   小口詩子  小口むめ

閉所嗜好症(8分・DCP・カラー)

閉じ込めたい/閉じ込められたいという欲望をめぐる自問自答をセルフヌードを交えて展開する実験映画。イメージフォーラム夏季ワークショップに参加した和田淳子が、初作品として独力で作り、IFF1994に入選。鮮烈な登場を印象づけた。

1993   和田淳子

桃色ベビーオイル(16分・DCP・カラー)

都市で一人暮らしをする若い女性を主人公に、部屋が媒介する妄想を客体化された身体性と詩的モノログによって表現。PFF1995入選およびIFF1996大賞受賞。

1995   和田淳子  余語美沙子、青山玲子

21 3/8(土)16:00 3/20(木)19:00

寺嶋真里

緑虫(41分・DCP・カラー) **NEW**

妄想やナルシズム、強迫観念を緻密な色彩や音響とともに映像化した幻想的な8 mm作品。緑の部屋に引きこもる少年の孤独を悪夢的に描く。独自の洗練された世界観を展開した手腕が高く評価され、IFF1992一般公募部門グランプリを受賞した。

1991   寺嶋真里  原神玲  由良泰人  西沢むつ、河合むつ子、藤田貴子、桜井直高

女王陛下のポリエステル犬

(35分・DCP・カラー) **NEW**

教師のボールはある日、女王陛下のペットであったというおしゃべりな犬を拾う。犬がぬいぐるみで表現され、漫画のコマやテキスト、静止画、映画の引用などを用いながら、ポップで狂気的なブラック・ユーモアの世界が広がる。1994年の独・オーバーハウゼン国際短編映画祭にて上映された。

1994   寺嶋真里  レイハラカミ  やなぎみわ、大橋勝



blue

製作

31 2/20(木)15:00 3/5(木)19:00

椎井友紀子

ビリケン(101分・35mm・カラー)

オリンピック誘致のため通天閣の撤去問題が持ち上がり住民たちが混乱する中、福の神ビリケンが実体化して現れるという阪本順治監督の人情喜劇。椎井友紀子は『王手』(1991)以降、阪本作品のほぼ全作品を支えてきたプロデューサー。スクリプターの今村治子は相米組、阪本組の名スクリプターとして知られたが2022年に逝去。小沼みどりとは伊丹十三の諸作のメイクを皮切りにヘアメイクの第一人者として活躍。衣裳の宮本まさ江は阪本の他、林海象、原田真人、行定勲ら同時代にデビューした多くの監督と組んでいる。

1996(シネカノン) 製作 椎井友紀子 監 阪本順治 監 豊田利晃 監 李鳳宇、小林尚之、市村将之 監 笠松則通 監 金勝浩一 監 TEN・GU 監 杉本哲太、山口智子、鷹龍太郎、岸部一徳、南方英二、國村隼、原田芳雄、石井トミコ

32 2/21(金)15:00 3/13(木)19:00

松田広子

どこまでもいこう(74分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

団地に住むアキラ(鈴木雄作)と光一(水野)は同じ小学校の悪ガキコンビ。しかし5年生で別のクラスになると、2人の関係には微妙なずれが生じ始める。松田広子は雑誌編集者を経て、『おかえり』(1996、篠崎誠)からプロデューサーとして活動。映画美学校の立ち上げにも参加しており、本作は同校高等科によるコラボレーション実習作品として製作された。

1999(ユーロスペース=映画美学校) 製作 松田広子 監 塩田明彦 監 堀越謙三 監 鈴木一博 監 磯見俊裕、三ツ松けいこ、露木恵美子 監 岸野雄一 監 鈴木雄作、水野真吾、鈴木優也、芳賀優里亜、安藤奏、津田寛治、中村久美



ビリケン



どこまでもいこう

33 2/19(水)15:00 3/15(土)13:00

佐藤美由紀

20世紀ノスタルジア

(93分・35mm・カラー)

1960年代に16mmで鮮烈なデビューを果たした映像作家・原将人が、若者たちがビデオカメラを持つ時代に2人で映画を作りながら恋に落ちていく高校生男女を捉えた実験的恋愛映画。当時シナリオを読んだ、オフィス・シロウズの若手・佐藤美由紀の「これ、絶対に映画にすべきですよ。」の一言で映画化が動き出したという。佐藤は本作でプロデューサーデビュー。衣裳デザインの小川久美子は雑誌『anan』等のスタイリストを経て映画界入り。相米慎二監督作品や『キル・ビル』2部作(2003-04)などが代表作。

1997(オフィス・シロウス) 製作 佐藤美由紀 監 原将人 監 中島吾郎 監 西村隆 監 馬場順一 監 丸尾知行 監 広末涼子、圓島努、多田亜沙美、新田聡子、大島蓉子、佐藤正宏、梅垣義明、根岸吉太郎、余貴美子

◎3月15日(土)13:00の回はバリアフリー上映を行います。

34 2/16(日)16:00 3/11(水)19:00

白石洋子

満山紅柿(90分・16mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

『1000年刻みの日時計 牧野村物語』(1986、小川紳介)の際に撮影されながらも日の目をみなかった上山名産・紅つるし柿の生産過程の記録フィルムは、小川の死の6年後、生産者遺族らの要望を受けて再び動き出した。小川プロの元スタッフであり、監督の伴侶として映画制作の同志でもあった白石洋子はプロデューサーを担当。小川が生前「ぜひドキュメンタリーを撮らせたい」と支援していた中国人女性監督の彭小蓮を3か月かけ探し出して説得し、小川の遺志を継いだともいえる見事な作品に結実させた。

2001(上山名産・紅干柿の記録映画を作る会) 製作 白石洋子 監 小川紳介、彭小蓮 監 田村正毅、林良忠 監 菊地信之、菊地進平 監 縄文太鼓 監 木村修一、木村サト、渡辺金一、渡辺茂子、渡辺智春、中川トシ子、中川庄太郎

◎『20世紀ノスタルジア』バリアフリー上映のお知らせ

3月15日(土)13:00の回は、聴覚障害の方向けの日本語字幕と、映画の音声を増幅するヒアリンググループシステム座席をご用意しています。また、視覚障害の方向けの音声ガイドをFM配信し、ラジオ貸出もいたします。

予約について

ヒアリンググループ座席と音声ガイドラジオ貸出はメールまたはFAXによる事前予約制です。また、聴覚・視覚障害の方で、字幕でご覧になる方やラジオとイヤホンを持参される方も、お席の予約を受け付けますので、3月12日(水)までにご連絡ください。席数や貸出ラジオ台数には限りがございます。お早めにお申し込みください。
※ヒアリンググループご希望の方は磁気コイル付補聴器(“T”マーク付補聴器)をご持参ください。

メールおよびFAX予約方法

件名: 字幕／ヒアリンググループ／音声ガイド
(いずれかをご記入ください)

記入事項:

- ① 来場者全員のお名前(付添者は人数だけでも可)
- ② 希望席数／ラジオ希望台数
- ③ 返信用連絡先(当日も連絡がとれる電話番号またはメールアドレス)

※日曜・月曜に予約申込された場合、予約受付の返信は後日お送りします。

※個人情報上記の目的にのみ使用し、使用後は適切に破棄します。

申込期間: 2月25日(水)ー3月12日(水)

*定員に達し次第、締め切ります。

申込先: assist@nfaj.go.jp FAX: 03-3561-0830

協力: Palabra株式会社、社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター

*詳細はホームページをご覧ください

その他

35 2/27(木)19:00 3/15(土)16:00

浅梨なおこ

ケルベロス 地獄の番犬

(99分・35mm・カラー)

首都警特機隊(通称ケルベロス)の騒乱事件の後、逃亡した上官の都々目紅一(千葉)を追って台湾を訪れた乾(藤木)は、紅一を知る少女・唐密(蘇)に出会い、彼女とともに各地を彷徨する。『紅い眼鏡』(1987)の前日談であり、当初は強化装甲服(プロテクトギア)を装備した戦士たちのアクション映画として構想されたが、台湾ロケのトラブルなどにより、押井守特有のモラトリアム的世界観を打ち出した一作となった。録音演出の浅梨なおこはOVA『天使のたまご』(1985)以降、押井作品の常連となり、スタジオジブリのアニメーションのほか、実写映画にも多数関わっている。

1991(バンダイ=フジテレビジョン) 録音演出 浅梨なおこ 監 押井守 監 関宮庸介 監 手塚常光 監 川井憲次 監 プロテクトギアデザイン 出淵裕 監 藤木義勝、蘇意菁、松山鷹志、千葉繁

36 2/21(金)18:30 3/14(金)18:30

黒澤和子／野上照代

まあだだよ(134分・35mm・カラー)

内田百閒の隨筆に想を得た黒澤明の遺作。ドイツ語教師(松村)と彼を慕い続ける門下生たちの交流を、飄々としたユーモアと情感をこめて描いている。黒澤和子は、黒澤明の長女で、後期作品の衣裳デザインを担当。その後は是枝裕和や北野武の作品でも活躍する。野上照代は、出版社に編集者として勤務した後(その際、内田百閒とも面識があった)、大映、東宝でスクリプターとして活躍。黒澤作品には編集者、製作者としても携わり、製作現場の状況を伝える貴重な資料を数多く残している。

1993(大映=黒澤プロ) 衣裳 黒澤和子 プロダクションマネージャー 野上照代 監 黒澤明 監 内田百閒 監 斎藤孝雄、上田正治 監 村木与四郎 監 池田晋一郎 監 松村達雄、香川京子、井川比佐志、所ジョージ、油井昌由樹、寺尾聰、日下武史、小林亜星、吉岡秀隆

37 3/2(日)16:00 3/13(木)15:00

芦澤明子／万田珠美

Unloved(117分・35mm・カラー) NEW

WOWOW製作による(J・MOVIE・WARS 5)の一作。分相応であることに拘泥する公務員の影山光子(森口)、起業家の勝野(仲村)、配送センターで働く下川(松岡)の3人が織りなす三角関係を描く。万田珠美が主導して、夫の万田邦敏が改訂する形で練り上げられた脚本と、芦澤明子の撮影による曖昧さを排しつつも暖かみのあるルックが、物語世界を豊饒なものとしている。

2002(WOWOW=バンダイビジュアル) 監 万田珠美 監 芦澤明子 監 万田邦敏 監 郡司英雄 監 川井憲次 監 森口瑠子、仲村トオル、松岡俊介、持田篤、松本じゅん、川上志穂、奥澤麻由美



満山紅柿



ユキエ



学校の怪談

©1995 TOHO CO., LTD.



まあだだよ



第七界界彷徨 尾崎翠を探して

©旦々舎



誘拐

©1997 TOHO CO., LTD.



超愛人



OL忠臣蔵

©光とインターナショナル



ナースコール



20世紀ノスタルジア

展示室(7階)

【企画展】 常設展「NFAJ コレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

映画監督 アンジェイ・ワイダ

Film Director Andrzej Wajda

2024年12月10日(火)―2025年3月23日(日)

* 月曜日は休室

主催：国立映画アーカイブ

共催：日本美術技術博物館Manggha、

アダム・ミツェヴィチ・インスティテュート

協力：クラクフ国立美術館、ポーランド広報文化センター

『灰とダイヤモンド』などでポーランドから世界映画に新風を起し、『大理石の男』や『鉄の男』では政治体制にも抗いつつ壮大な物語世界を築いた監督アンジェイ・ワイダ。2019年に本国で開催した展示内容に加え、日本との深いつながりを示す独自の章を加えてその作家像をたどります。

開室時間＝11:00―18:30(入室は18:00まで)

* 2月28日(金)は開室時間を20:00まで延長します(入室は19:30まで)。

料金(常設展・関連企画共通)＝一般250円(200円)／大学生130円(60円)／65歳以上、高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立美術館のキャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズは入室の際、証明できるものをご提示ください。

* 当館が主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

▶ チケット購入方法

	一般	高校・大学生・65歳以上	小・中学生	障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ
チケット料金	520円	310円	100円	無料
オンライン販売	各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで			
窓口販売	各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売			

* 電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。

* 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。

* 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、国立美術館のキャンパスメンバーズは証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

* 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

* タイトルの横に*印が付いている作品は、公開当時

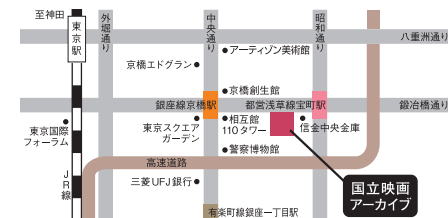
成人指定を受けた作品です。当該の上映回には女性専用席を設けます。小・中学生券はございません。

▶ 入場方法

* 開場は開映30分前です。

* チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いのないようご注意ください。

* 各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通：

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線三軒町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル 050-5541-8600
ホームページ：www.nfaj.go.jp



長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

日本の女性映画人(3) —1990年代

Women Who Made Japanese Cinema [Part 3]: 1990s

2月	11 ㊄		15:00 ㊄ 映画をつくる女性たち (103分)	19:00 ① ぼくらの七日間戦争2 (88分)
	12 ㊄		15:00 ④ 人でなしの恋 (87分)	19:00 ⑤ PLATONIC SEX (104分)
	13 ㊄		15:00 ⑨ WINDS OF GOD (97分)	19:00 ⑩ 風のかたみ (99分)
	14 ㊄		15:00 ⑪ 萌の朱雀 (94分)	19:00 ⑫ ユキエ (94分)
	15 ㊄	13:00 ⑥ 冬の河童 (113分)	16:00 ⑦ 火星のカノン (121分)	19:00 ⑧ せかいのおわり (111分)
	16 ㊄	13:00 ⑬ 四分一節子／山田火砂子 (計103分)	16:00 ⑭ 満山紅柿 (90分)	
2月	18 ㊄		15:00 ⑬ 落下する夕方 (106分)	19:00 ⑭ 第七官界彷徨 尾崎翠を探して (108分)
	19 ㊄		15:00 ⑳ 20世紀ノスタルジア (93分)	19:00 ㉑ 誘拐 (109分)
	20 ㊄		15:00 ㉒ ビリケン (101分)	19:00 ㉓ ナースコール (109分)
	21 ㊄		15:00 ㉔ どこまでもいこう (74分)	18:30 ㉕ まあだだよ (134分)
	22 ㊄	13:00 ③ K-20 怪人二十面相・伝 (137分)	16:30 ② エコエコアザラク Wizard of Darkness★ (80分)	
	23 ㊄	13:00 ④ 人でなしの恋 (87分)	16:00 ⑤ PLATONIC SEX (104分)	
2月	25 ㊄		15:00 ⑮ 吉行由実／小谷内郁代* (計123分)	19:00 ㉔ 夢の女 (98分)
	26 ㊄		15:00 ⑰ 女たちの証言 (93分)	19:00 ⑯ 栗原奈名子／山上千恵子／瀬山紀子(計114分)
	27 ㊄		15:00 ㉓ 道下匡子／鷺樹丸 (計79分)	19:00 ㉕ ケルベロス 地獄の番犬 (99分)
	28 ㊄		15:00 ⑩ 風のかたみ (99分)	19:00 ⑬ 落下する夕方 (106分)
	1 ㊄	13:00 ① ぼくらの七日間戦争2★ (88分)	16:00 ㉖ 学校の怪談 (101分)	
	2 ㊄	13:00 ㉗ blue (116分)	16:00 ㉘ Unloved (117分)	
2月				
	4 ㊄		15:00 ⑨ WINDS OF GOD (97分)	19:00 ㉔ 0L忠臣蔵 (113分)
	5 ㊄		15:00 ㉑ 誘拐 (109分)	19:00 ㉒ ビリケン (101分)
	6 ㊄		15:00 ⑮ 吉行由実／小谷内郁代* (計123分)	18:50 ㉔ 西田直子* (計126分)
	7 ㊄		15:00 ② エコエコアザラク Wizard of Darkness (80分)	18:30 ③ K-20 怪人二十面相・伝 (137分)
	8 ㊄	13:00 ㉔ 小口詩子／和田淳子 (計87分)	16:00 ㉑ 寺嶋真里 (計76分)	19:00 ㉔ 歌川恵子 (計77分)
	9 ㊄	13:00 ㉖ 学校の怪談 (101分)	16:00 ⑬ 四分一節子／山田火砂子 (計103分)	
3月	11 ㊄		15:00 ⑰ 女たちの証言 (93分)	19:00 ㉔ 満山紅柿 (90分)
	12 ㊄		15:00 ㉗ blue (116分)	19:00 ⑪ 萌の朱雀 (94分)
	13 ㊄		15:00 ㉘ Unloved (117分)	19:00 ㉔ どこまでもいこう (74分)
	14 ㊄		15:00 ㉓ ナースコール (109分)	18:30 ㉕ まあだだよ (134分)
	15 ㊄	13:00 ㉓ 20世紀ノスタルジア○バリアフリー上映(93分)	16:00 ㉕ ケルベロス 地獄の番犬 (99分)	
	16 ㊄	13:00 ⑫ ユキエ (94分)	16:00 ⑭ 第七官界彷徨 尾崎翠を探して (108分)	
3月	18 ㊄		15:00 ㉔ 0L忠臣蔵 (113分)	18:50 ㉔ 西田直子* (計126分)
	19 ㊄		15:00 ⑥ 冬の河童 (113分)	19:00 ㉔ 小口詩子／和田淳子 (計87分)
	20 ㊄		15:00 ⑦ 火星のカノン (121分)	19:00 ㉑ 寺嶋真里 (計76分)
	21 ㊄		15:00 ⑧ せかいのおわり (111分)	19:00 ㉔ 歌川恵子 (計77分)
	22 ㊄	13:00 ① ぼくらの七日間戦争2 (88分)	16:00 ㉔ 夢の女 (98分)	19:00 ㉓ 道下匡子／鷺樹丸 (計79分)
	23 ㊄	13:00 ⑯ 栗原奈名子／山上千恵子／瀬山紀子(計114分)	16:00 ⑬ 映画をつくる女性たち (103分)	

■★印の回はトークがあります。 ■*印の回は女性専用席を設けます。

■各日11:00に開館します。